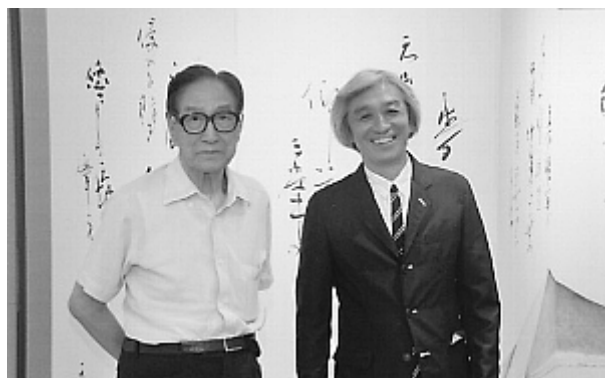


遺墨 加藤大碩の世界展

併催 加藤 裕 書展



と き： 平成24年9月19日(水)
～23日(日)

ところ： 電気文化会館5階東・西ギャラリー

加藤大碩先生の三回忌を迎え、「加藤大碩の世界展」併催「加藤裕書展」を開催致しました。

「さくらさくら」の大作に始まり、日展、毎日展、創玄展、個展等の作品群に画作、写経、日記も置かれ、書・画・詩が渾然となった大碩先生の世界が広がりました。



永い書の伝統から脱却し、誰にも親しめる清新な近代詩文書の世界を打ち立てた金子鷗亭先生。大碩先生はその志を継ぎ、漢字かな交じりの書を読み易く、日常にも役立ち、親しめるようにする一方で、芸術としての豊かな美を追求し、優美で格調高く表現されました。先生の真摯な書への思いが会場に溢れていました。

併催「加藤裕書展」は、東日本大震災においての人間の尊厳や儚さを心にとめ、生けるものの幸せを願い奔走した宮沢賢治に思いを馳せ、挑んだ大作七点となりました。力強く温かで、重厚な立体感ある書線で迫ってくる表現豊かな作品群が、迫力溢れる空間を作り上げています。

両先生の書に対する情熱を忘れずに、会員一同これからも精進して参ります。ご多忙中にもかかわらず全国より大勢の方々にご高覧いただき、またご祝電・ご祝辞を賜りまして心より御礼申し上げます

(溝口子静 記)